平成24年度　シラバス	学年・期間・区分	５年次 ・ 後期 ・ B群
	対象学科・専攻	土木工学科
応 用 測 量 学 実 習 (Training of Surveying)	担当教員	西留　清（Nishidome , Kiyoshi）
	教員室	都市環境デザイン工学科棟３階（TEL：42- 9119）
	E-Mail	nisidome@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態／単位の種別／単位数	実習 ／ 履修単位 ／ １単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業（100分)〕× 15回	

〔本科目の目標〕　測量学実習Ｉに引き続く基礎・応用で、「建設省公共測量作業規定」等を参考にして、測量作業の具体的基準を把握できるように努め、路線計画を実習することにより、これらの基礎知識を会得する技術を学ぶ。

〔本科目の位置付け〕　応用測量学実習は、応用測量学により学習した内容で実施される。

〔学習上の留意点〕　交通工学での基礎知識及び測量学実習Ｉで学んだ平板、レベル、トランシット器具の取扱いを完全に修得している必要がある。測量実習のできる服装で、グループ実習を行う。

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 応用測量実習	2	□ 地形図の全般に関する測量方法を理解できる。	地形測量について参考書等を使って調べて，概略を理解しておく。
	2	□ 平板、レベル、トランシットの使用法を理解できる。	
	2	□ トラバース測量の内業計算ができる。	
	4	□ 座標法逆計算による路線測量を実施することができる。	
	2	□ 縦断測量及び計算を理解できる。	
	2	□ 縦断図の作成(内業)ができる。	
	2	□ 横断測量及び計算ができる。	
	2	□ 横断図の作成(内業)ができる。	
	4	□ 写真測量を実施することができる。	写真測量の内容について，教科書･参考書等を読んで概要を把握しておく。
	4	□ 土工計画ができる。(土量算出)	
	4	□ 平面計画ができる。	

〔教科書〕　配布資料

〔参考書・補助教材〕　測量学Ⅱ　岡林巧・堤　隆・山田貴浩　コロナ社

〔成績評価の基準〕　課題レポート（90%）＋ 学習意欲度（10%）

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕　3-c ， 4-a

〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕　1-3

〔JABEEとの関連〕　(d)(2)d)

Memo